

# The Leading Partner Workers with HONGO

今号では、本郷工業の仲間と共に、現場で活躍してきた一流のパートナーワーカー(PW)の2人を紹介する。解体班リーダー田中裕行を支える川口英雄(40)と、太陽光発電所建設に技術を活かす岩永利和(44)。本郷工業専属の外部スタッフとして現場代理人と同等レベルの仕事をこなしながら、若手育成にも寄与するかけがえのない仲間だ。



パートナーワーカー  
川口 英雄 (40歳)

## 現場が好きだからPWに

### 本郷工業で自身も大きく変化

「好きなのは現場での仕事。だからPWを続けています」。7人いる解体班では、リーダー田中の右腕となって活躍している。解体班の現場には、若い現場代理人やベトナムからの実習生など、まだ経験が浅い4人がいる。様々な条件の現場では、経験が必要だ。若手が事故に合わないように、近隣から苦情が出ないようにと、常に注意を払っている。「解体現場は狭い場所もある。常にケガと隣り合わせ。安全や近隣への気遣いが一番大切」と、4人を教えながらの仕事に



遣り甲斐を感じている。宅配業やトラック運転手などを経て、25歳のときに土木工事の仕事に就いた。そのときに田中とは出会った。その会社で田中とは6年一緒に仕事をしてい

## 仕事と妻、人生のめぐり逢い

### 事故乗り越え、本郷工業の一員に

本郷工業の新事業部門である太陽光発電所の建設に従事している。20代前半、鉄骨のとび職をしていた。「鉄骨に触れる技術が追いつかなくて、今この仕事に楽しんでいる。今の仕事は本当に楽しい。幅10mをはるかに超える大きな太陽光パネルを吊るし、土台にはめ込むのが仕事だ。はめ込んだパネルがしっかりと動き出すまで、気が抜けない。「動き出したら、おー、動いたぞ。かっこいいな」と、感動です」と満面の笑顔だ。この仕事に携わ



日の朝の会議にも出席するようになった。それが、専属PWとしてのスタートとなった。36歳のとき命に関わる交通事故に会い、骨盤から下に大きく損傷した。足を切断する瀬戸際

だった。二か月間寝たきり。ベッドで座ることすらできなかった。一年間は来る日も来る日もリハビリ。「先が真っ暗で、腐っていった」という。何とか回復し仕事ができるようになったところ、中学時代の同級生池田から「4tを運転できる人がいる。スポットでいいから手伝ってくれ」と誘いがあった。本郷工業の造形の現場に行くようになった。そして、太陽光発電所事業が社内です立ち上がったところ、岩永



昨年12月の家族感謝で、本郷工業スタッフや家族の前で、「一流のパートナーワーカー」として会社から表彰された岩永(左から二人目)と川口(左から三人目)。左端が本郷工業社長・本郷智也。

筆者紹介:住田崇(すみだ たかし) 元京都新聞記者。民泊管理運営代行・WEB制作会社(株)スタートレックKYOTO代表取締役。京都市在住。

### 川口 英雄 Kawaguchi Hideo

1977年8月18日生まれ 滋賀県大津市出身 2013年から本郷工業の現場に。「アットホームな感じが好きで」と本郷工業の専属パートナーになった。妻・悦子さん。今春から中学生になる長男・輝晃くん(12)と、小5の次男・優斗くん(10)の4人家族。



た。田中が会社を去った後、川口が替わりに解体現場の頭となった。ある日、草津市の解体現場で、本郷工業に勤めていた田中と数年ぶりに出会い、驚いたという。「若気の至りで、イケイケで仕事をしてきたが、久しぶりに出会った田中さんは、見た目、話し方まで、まるで自分と一緒に仕事をしてきた人ではなかった。それから1年後、妻とも相談し、本郷工業のPWになることを決めた。「給料も上がった

し、労働環境もいいから安心して働けた。重機の数も、人の数もそろっていた」と、6年務めた会社から移った。本郷工業でもすでに5年が経過した。川口は「ここで仕事をしようになつて私自身がずいぶん変わりました。現場も増える中、少数精鋭でやっている。本郷工業はこれから成長していく。あとは、仲間を増やし、その人材をきちんと育てていくことが大事です」と、語る。本郷工業の誰もが認める一流のPWとして、活躍が期待されている。

パートナーワーカー  
岩永利和 (44歳)

### 岩永利和 Iwanaga Toshikazu

1974年2月14日生まれ 滋賀県大津市出身 30代は大きな交通事故で九死に一生を得て、4代になって本郷工業で起死回生を果たす。5年前、中学時代の同級生である現場代理人池田仁一に声をかけられ、本郷工業の現場に。太陽光発電所建設には欠かせない存在。今春、妻・順加さんと結婚式を挙げる。



は鉄骨を建てる技術を買われ、同事業に従事するようになった。新しい事業だけに、会社全体でのコミュニケーションが大事になる。PWの岩永への期待も、責任も大きいし、それが楽しい。「0から始まった太陽光の仕事。みんなで試行錯誤しながらやってきた。アンカー溶接からボルト一本まで責任は重い。それだけに、今の仕事には充実感があります」。4年前には、妻・順加さんと出会い、昨年春入籍した。大きな困難を乗り越えて、今がある。「太陽光の仕事に出会ったのも、妻に出会ったのも人生のめぐり逢い」。本郷工業の一員として、ますます仕事に力が入る。

No. 20

# HONGO PRESS

2018. 03. 01 release

Hongo Industry Co.  
monthly newspaper

Automatic  
Tracking  
system



Toshikazu  
Iwanaga



solar power  
installation work



Hideo  
Kawaguchi



Demolition work

Construction  
work



meeting...

## 有限会社 本郷工業

■草津工事管理事務所

〒525-0058  
草津市野路東 6-3-4 ブレジオ 3 1F  
TEL:077-566-8200 FAX:077-566-2234

■近江八幡営業所

〒523-0893  
近江八幡市桜宮町 206-23 ブレジオ 5 5F  
TEL:0748-43-2117 FAX:0748-43-2118



MAIL: hongo@pop.biwako.ne.jp  
H P: http://www.hongou-i.jp

## バトナム実習4期生開校式

本郷工業では、SDGs( 持続可能な開発目標 ) への取り組みのひとつとして「外国人技能実習生」の受入を積極的に行っており、本年も3名の実習生を3月から受入れることが決まっています。本郷工業で技能実習を行う3名が参加する開校式が1月末に大阪で行われ、本郷工業メンバーも3名参加してきました。6ヶ月間日本語を勉強してきた実習生の3名と本郷工業メンバーで、日本語での自己紹介をしたりしながら和やかな雰囲気で開催式が無事おわりました。3名の実習生は2月28日付で本郷工業に配属になり、3月1日から本郷工業メンバーとしての仕事を通じ、3年にかけて技能実習を行います。日本での技能を活かせることができるように、様々な面でのサポートをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします！！

緊張しますが、...  
よろしくお願いいたします!!



Hongo  
News Letter



本郷工業もついに  
Google ストリートビュー  
公開!!ぜひ見てね

CHECK  
THIS!!

## 外国人技能 実習生とは

我が国で培われた技能・技術又は知識の開発途上地域への移転を図り、当該開発途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に寄与することを目的として創設された制度です

Point

## SDGs - イスティーゼス - ( 持続可能な開発目標 )

2001年に策定されたMDGs( ミレニアム開発目標 ) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載されており、発展途上国のみならず先進国自身も取り組む2016年から2030年までの国際目標です。人間・地球および繁栄のための行動計画として、17の目標と169のターゲットからなる「SDGs( 持続可能な



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

開発目標)」が掲げられました。SDGs では全世界的な行動目標が要請されており、企業も主体的に取り組むべきとされています。本郷工業が行っているSDGsの取り組みはまだあります!!

詳細は後日紹介したいと思います^^